

国立国会図書館デジタル化資料送信サービスについて

国立国会図書館では、国立国会図書館でデジタル化された図書や雑誌のうち、絶版などで現在手に入らないものについて、承認を受けた図書館でのみ専用端末で閲覧・複写ができる、「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」を行っています。本学図書館もこのたび承認を受け、サービスの提供を開始しました(2018年1月9日より)。

公開範囲 種類	インター ネット公開	送信サー ビスの 対象	国立国会図 書館限定	合計	概要
図書	35万点	55万点	7万点	97万点	昭和43年頃までに国立国会図書館が受け入れた図書、震災・災害関係資料の一部 ※現在も流通しているものや、漫画・絵本は国立国会図書館限定
古典籍	7万点	2万点	—	9万点	貴重書、江戸期・清代以前の和漢書など
雑誌	1万点	80万点	48万点	128万点	明治期以降に発行された雑誌(刊行後5年以上経過したもの) ※商業出版社によるものは国立国会図書館限定
博士論文	1万点	12万点	1万点	14万点	平成3～12年度に送付を受けた論文 ※商業出版されているものは国立国会図書館限定
その他	8万点	(少数)	9万点	17万点	官報、日本占領関係資料、脚本※など ※脚本: 日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムから寄贈された昭和55年以前の放送脚本(テレビ・ラジオ番組の脚本・台本)の一部
計	53万点	148万点	65万点	266万点	

表1 国立国会図書館が提供するデジタル化資料の概数(2017年7月現在)
(※概数のため、合計が合わない箇所があります。)

利用できる方

学生: 学部学生(通信教育課含む)、大学院生、科目等履修生(京カレッジ受講生含む)、
特別聴講学生(留学生)、認定看護師教育課程受講生
教職員: 専任教職員、名誉教授、非常勤講師、研究員、臨時職員

※上記の方以外は利用できません。

利用時間

- 図書館開館時間が8:45～20:30までの開講期間中
平日(月～金) 9:00～19:00
- 図書館開館時間が8:45～17:15、8:45～19:30までの開講期間中
平日(月～金) 9:00～15:00
- 土、日、祝日は利用できません。
※ただし、平日の祝日で平常授業日になった場合は利用できます。

閲覧の申込方法

図書館備付の申込票に記入し、学生証または教職員証、利用カードとともにカウンターへ提出してください。

閲覧にあたっては、図書館職員、カウンタースタッフの指示に従ってください。

閲覧が終了したら、直ちにカウンタースタッフにお申し出ください。お申し出なくそのまま離席された場合は、次回のご利用の際、閲覧を制限させていただくことがあります。

複写の申し込み

所定の申込票をカウンタースタッフから受け取り、必要事項を記入の上、カウンターへ提出してください。

複写は、利用者が直接することはできません。カウンタースタッフのみで行います。複写物のお渡しは、翌開館日以降となります。

専任教員の方で、学内外の研究費で複写をご利用の場合は、複写申込時にお申し出ください。

[複写費用]

モノクロ	単価(円)	20円
カラー	単価(円)	60円

* 消費税込み

注意事項

- デジタル画像をダウンロードしたり、USBメモリにコピーして保存することはできません。
- モニタに表示されるデジタル画像を撮影することはご遠慮ください。

利用マニュアル

カウンターにておたずねください。

リンク

国立国会図書館デジタル化資料送信サービスについて(国立国会図書館)

- * 国立国会図書館デジタルコレクションへのリンクがあります。

<http://www.ndl.go.jp/jp/service/digital/index.html>